

『地域のまちづくりに関する施策の提案』の基本的な考え方

1. 提案するための基本事項

- 多くの意見を集約した提案であること。

自治会議の委員は20名ですが、単に20名の意見を集約するのではなく地域住民の代表組織であることを踏まえ、多くの地域住民の意見を集約した提案とすることが望ましいことです。特に、団体組織推薦の委員の方は、組織内の意見を踏まえて発言することが必要です。また、学識経験者・公募委員につきましても、地域住民の意見を聴取し提案に反映させることが重要です。

- 自分たち（地域）に『何ができるか』を常に意識すること。

まちづくり提案は、住民自治の観点から地域全体のまちづくりの進むべき方向性を示すものであり、常に自分たち（地域）に『何ができるか』を意識して作り上げるものです。そのため、実現可能性を念頭に『誰が、いつ、どのように』をイメージして提案することが重要です。

- 10年後の理念と実現性を描くのがポイントです。

地域の「あるべき姿」を明確にするためには、現状把握・課題抽出・将来予測等の整理を行った上で方向性を導き出し、地域全体が、それぞれの立場でその目標に向かって活動できるような実行性（実効性）のある提案を行うことが求められます。

2. 提案内容

- 提案内容は、地域のまちづくりを進めるに当たって地域が自ら取組む施策（方向性・あるべき姿）を基本とします。〔個別具体的な行政施策要望としない。〕
- 委員改選により委員構成が変わっても、会議自体は継続的な存在（28年度末まで）であることから、毎回の提案内容に大きな齟齬が起きないように配慮します。
- 上河内地区の提案ではあるが、他の地域も含めた全市的なレベルアップにつながるような提案も考慮します。

3. 提案イメージ

○将来像・・・「自然と人が共生し、安心して暮らせる活力あふれる地域」
(あるべき姿)

○施策の提案・・・テーマ「子育て・教育」

・実現方策 方策1 地域主催行事へ積極的参加の推進

① 行事参加意欲の向上

- ・地域行事の実態調査
- ・地域情報紙の歳時記の充実
- ・魅力ある行事への転換

} 手法

② 伝統行事や伝統文化の伝承

- ・「まち教授」を募集
- ・伝統行事や伝統文化と学校教育の連携
- ・学校へ「まち教授」を派遣

} 手法

③

・○○○○○

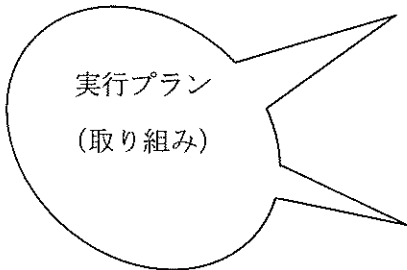
・○○○○○

方策2 ○○○

①

・○○○

・○○○



実行プランを実現するためには、具体的な手法を意識しながら検討することが重要なポイントです。

※留意点・・・個別テーマの検討に当たっては、『地域でできること』『協働で取り込むこと』『行政に望むこと』を整理してまとめる必要があります。